

RBC 琉球放送



所在地：沖縄県那覇市久重地2丁目3番1号
 スタジオ面積：186㎡
 施主：琉球放送㈱
 更新施工：東芝エレクトリックエンジニアリング㈱
 更新完了：2015年1月

S324

沖縄県を放送対象地域としてテレビジョン放送、中波放送(AM放送)する特定地上基幹放送事業者である琉球放送(株)(略称RBC)は、このたびスタジオ照明のすべてをLED化し、大幅な消費電力の削減を実現しています。

情報番組をはじめ歌番組など幅広い用途で制作しているRBCのスタジオをリニューアル

琉球放送(株)は、1954年10月1日に沖縄初の商業ラジオ放送として開局し、1960年にはテレビ放送を開始。報道番組をはじめスポーツや伝統芸能、情報番組など幅広く番組制作しています。今回リニューアルしたスタジオは、日々のニュース番組をはじめ、情報番組では歌ものの収録や特番等幅広い用途で運用しています。スタジオ照明は、旧設備の劣化が進み更新時期が近づいていました。イニシャルコスト、ランニングコストの面で検討した結果、トータルコストで有利となるフルLED化する方針で決定。同時に空調設備の更新も行われましたが、照明のLED化による空調負荷軽減も可能となり、さらなる省エネ効果が得られ「エネルギー使用合理化事業支援補助金」の制度をも利用できる複合的なメリットが享受されました。



改修された各種LEDスポットライトなどを7列の美術バトンにバランスよく配列。それを囲む形でLED水平ライトアッパー・ローアを配置

スタジオ照明をフルLED化し、大幅な消費電力の削減と空調負荷熱の軽減も実現

広さ186㎡、グリッドパイプ高さ7mのスタジオの照明バトンに配置していたハロゲン照明器具を、高出力、高演色のLEDスポットライト、ソフトな配光のLEDフラッドライトに更新しました。壁面にはLED水平ライトアッパーおよびローアを設置し、情報番組や歌番組などに効果的な演出を可能にしています。

これらのLED照明の改修によってすべての照明をフル点灯させても200A程度で運用できるため高い省エネ効果が得られました。また、RDMによるシステム制御ができることなどのメリットが生み出されています。調光操作卓はコンパクトかつ機能的にレイアウトされたVersa Stationを採用。リモート操作パネルにより、レギュラー番組対応時はあらかじめ仕込んだシーンを再生し運用しています。直点灯器具については再生シーンに連動してマグネット回路でON/OFFしています。



ニュース番組のスタジオ情景



更新された調光操作卓 Versa Station



キャットウォークからLEDスタジオ照明を望む



バトンに設置したLEDスタジオ照明



LEDスポットライトFORTEXシリーズフレネルタイプ



LED水平ライトアッパー

主な照明器具・周辺機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
スタジオ	LEDミニライト 4000シリーズ	AL-LED-ML-L-4	8	LED 定格消費電力：67W
	LEDスポットライト 10000シリーズ	AL-LED-FS-L-10-2	40	LED 定格消費電力：139W
	LEDスポットライト FORTEXシリーズ フレネルタイプ	AL-LED-FSH-L	22	LED 定格消費電力：237W
	LEDフラッドライトSタイプ	AL-LED-SQA-L	10	LED 定格消費電力：159W
	LED水平ライト アッパー	AL-LED-UH	27	LED 定格消費電力：140W
	LED水平ライト ローア	AL-LED-LH	32	LED 定格消費電力：140W 保護カバー付
	DMXノード	AL-DMXNODE-14B	16	—
調整室	調光操作卓 Versa Station	—	1	ワイヤレスコントロールシステム・リモート操作パネル付
調光盤室	インテリジェント直回路盤 ディムスタースリー	—	1	—